

ソースネクスト株式会社 2023年3月期第2四半期 連結累計期間事業報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



代表取締役会長 兼 CEO 松田 憲幸
代表取締役社長 兼 COO 小嶋 智彰

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、従来のパソコンやスマートフォン・アプリからIoT製品へと事業領域を拡大して参りました。

当第2四半期連結累計期間は、当社グループの主力製品であるAI通訳機「POCKETALK®(ポケトーク)」において、米国で教育・医療・公共機関や、その他企業等の非ネイティブへの対応ニーズといった内需主導によってポケトーク事業の成長が引き続き牽引され、米国における売上高は前期比124.4%増となりました。2022年4月にポケトークブランドの新製品「ポケトークアプリ(iOS版/Android版)」を発表、同年9月に世界26の国と地域において販売開始いたしました。また、2022年10月には新製品「ポケトーク同時通訳」を発表し、今冬の提供開始に向けて取り組んでおります。10月11日より入国規制が完全撤廃され、インバウンド需要の急速な拡大が期待されますので、引き続き世界的なブランド認知や、普及をさらに加速していきます。

その他のIoT製品については、360度webカメラの自社ブランド「KAIGIO CAM360(カイギオカム360)」や、AIにより音声を自動的に文字起こしするボイスレコーダー「AutoMemo S(オートメモ エス)」が好調で、いずれも売上高は前期比で増加いたしました。

一方で、大手キャリアへの定額アプリ使い放題サービスの縮小や家電量販店におけるソフトウェア製品の全体的な売上高の減少等が影響し、当第2四半期連結累計期間の売上高は46億8百万円(前期比7.8%減)となりました。

当社グループは、引き続きお客様に「次の、うれしい♪」を感じていただける製品をつくりだし、世界市場への展開を目指すとともに収支改善に向けて邁進して参りますので、皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

2022年12月

会社の概況 (2022年9月30日現在)

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-7133 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター 33階
資本金	3,698百万円
従業員数	単体146名(臨時7名含む) 連結166名(臨時7名含む)
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェア及び ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2022年9月30日現在)

代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者)	松田 憲幸
代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者)	小嶋 智彰
取締役 兼 CSO(最高販売責任者)	藤本 浩佐
取締役 兼 CFO(最高財務責任者)	青山 文彦
社外取締役	久保利 英明
社外取締役	安藤 国威
社外取締役	中井戸 信英
社外取締役	大上 有衣子
常勤監査役	廣瀬 正明
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	木南 麻浦

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	361,120,000株
発行済株式の総数	136,322,400株
株主数	49,201名

企業理念

社名の意味

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン

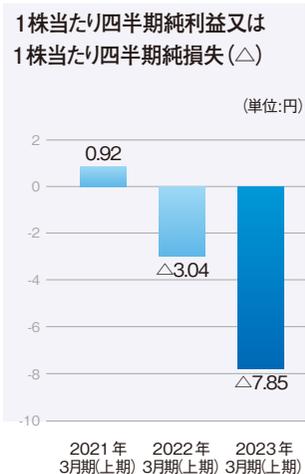
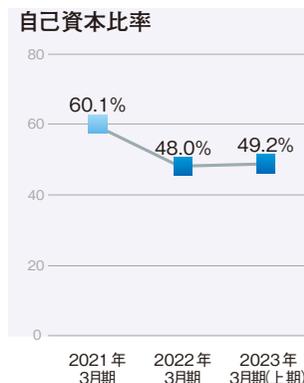
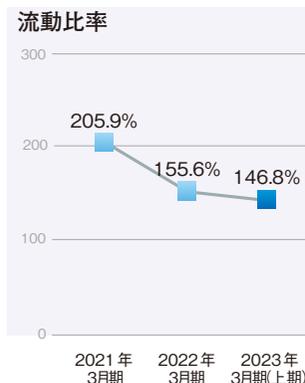
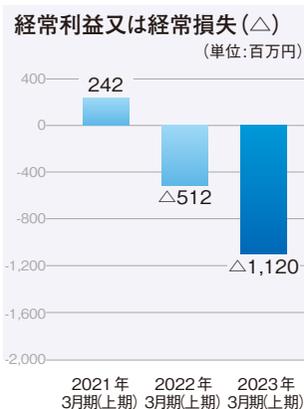
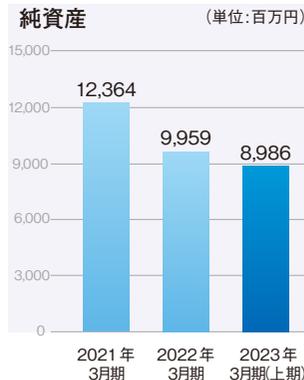
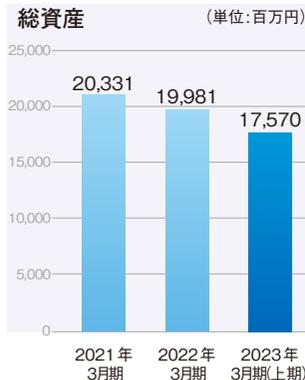
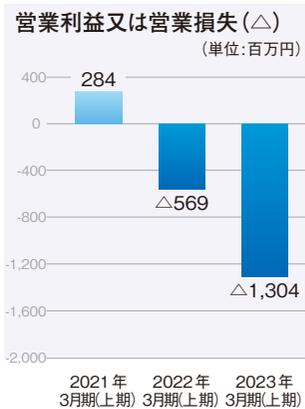
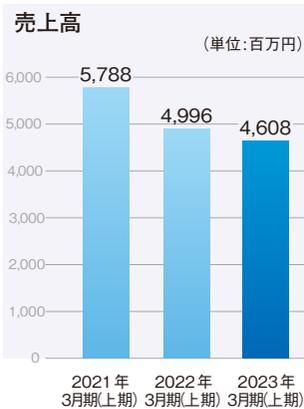
世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい
喜ばれる
面白い

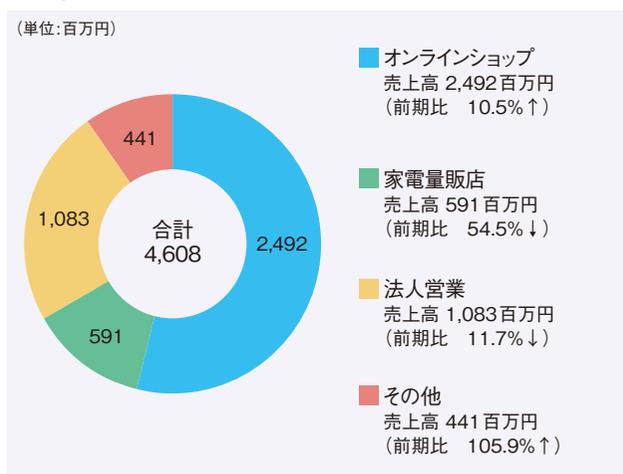


財務ハイライト

四半期連結業績推移



チャネル別売上高



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

2022年9月30日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	10,326,375	流動負債	7,036,189
固定資産	7,243,897	固定負債	1,547,129
有形固定資産	86,955	負債合計	8,583,318
無形固定資産	3,128,513	純資産の部	
投資その他の資産	4,028,428	株主資本	8,398,700
		その他の包括利益累計額	243,123
		新株予約権	226,647
		非支配株主持分	118,481
		純資産合計	8,986,953
資産合計	17,570,272	負債純資産合計	17,570,272

四半期連結損益計算書

2022年4月1日から2022年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
売上高	4,608,697
売上原価	2,482,212
売上総利益	2,126,485
販売費及び一般管理費	3,431,091
営業損失(△)	△1,304,606
経常損失(△)	△1,120,916
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,117,143
法人税等合計	4,905
四半期純損失(△)	△1,122,049
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,941
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,063,107

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2022年4月1日から2022年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△275,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,426,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,564,113

2023年3月期 通期業績予想

売上高	12,795百万円	24.1% 増 ↑
営業利益	△850百万円	
経常利益	△945百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	△995百万円	
1株当たり当期純利益	△7.34円	

より詳しい情報は当社IRサイトでご覧になれます。
<https://sourcnext.co.jp/ir/>

製品紹介

IoT 製品

AI通訳機 ポケットークのさらなる展開拡大と、ポケットークの技術を応用した新製品でマーケットの拡大を図っています。

広がる、ポケットーク

おかげさまで出荷台数
90万台突破
2017年12月～21年9月14日
初代「ポケットーク」、「ポケットーク W」、
「ポケットーク S」及び「ポケットーク S Plus」で
サンプル等除く



AI通訳機「ポケットーク」

「ポケットーク」は、70言語で音声・テキストに、13言語でテキストに翻訳できるAI通訳機です。新型コロナウイルスの影響による入国制限が緩和され、インバウンド需要の増加を背景に、出荷台数100万台が目前に迫っています。

AI通訳ソフト「ポケットーク同時通訳」を今冬発売予定 ポケットーク同時通訳



本製品は、相手の話す言葉を自国語に逐次翻訳して、音声と字幕で理解できるソフトです。こちらの話す言葉を相手の画面に映すこともできます。オンライン会議でも、対面でも使え、企業の通訳手配の費用削減に貢献します。



AI通訳アプリ「ポケットーク」

2022年5月にAI通訳アプリ「ポケットーク」(iOS版 / Android版)を提供開始。

本アプリは、AI通訳機「ポケットーク」をより身近なスマートフォンで使えるようにしたものです。各アプリストアを通して、グローバルでの展開も開始しています。Google Play ベスト オブ 2022 のユーザー投票部門にもノミネートされました。

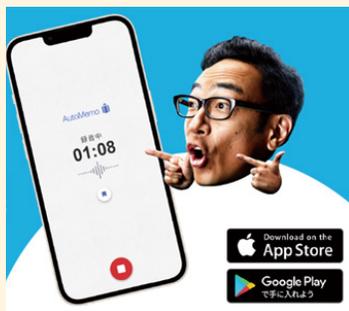
日本でも海外でも、法人需要 に応え、製品が続々と進化。

文字起こしAIボイスレコーダー
オートメモ

AutoMemo



オートメモは、録音した声をAIがテキスト化し、音声ファイルとともに自動でパソコンやスマートフォンに送ります。議事録の作成を効率化します。2022年10月には、累計アカウント数が4万アカウントを突破しました。



専用アプリからも録音が可能に

2022年8月に、スマートフォン用のアプリでも音声を録音できるようにしました。これにより、オートメモ端末がなくても文字起こしサービスを利用でき、さらに便利になりました。

東京03 角田さんを起用したCM動画



プロモーションを拡大

2022年10月には、東京03 角田晃広さんを起用したプロモーション動画を公開しました。webやタクシー内広告など、プロモーションを強化しています。

リモート会議 関連製品

カメラ、マイク、スピーカーが一体化になった会議用360度webカメラを2製品販売しています。

会議を、変えよう KAIGIO



全員の顔が見える「KAIGIO CAM360」
「KAIGIO CAM360(カイギオ カム)」は、独自のAIが人物を検知し、参加者全員を拡大して映し出します。人物をより大きく表示できるようになるなど、進化を続けています。



話者にフォーカスする「ミーティングオウル」
「ミーティングオウル」は、発言者を自動でフォーカスし、臨場感のある会議を実現します。累計出荷台数は2万台を超え、多くの企業に導入されています。

スマートフォンアプリ

LINEにも届く留守電サービス



スマート留守電

「スマート留守電」は留守番電話のメッセージを聞けるだけでなく、文字でも読めるサービスです。家電量販店や携帯ショップなどでも販売を開始しています。

パソコンソフト

テレワークの急速な浸透で、ビジネスソフトやセキュリティ、さらに学習ソフト、教育ソフトなどの需要が拡大しています。

ペーパーレス化のニーズに対応する「いきなりPDF Ver.10」



高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は1万社以上。文書管理の効率アップやコスト削減、テレワークの推進に貢献します。

更新料0円のウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」。入れた端末が使えるなくなるまで守り続ける製品です。1台に1本、1回入れれば、セキュリティ対策が完了するため、ウイルス対策の負担を大きく軽減します。

3ブランドの年賀状ソフト



年賀状ソフトのトップシェア製品「筆まめ」、自社著作の「筆王」、Mac用の「宛名職人」を発売しています。3ブランドのソフトを通じて、大切な人との絆を深めます。自社サイトでは毎年の自動継続版が好評で、売上也堅調に伸びています。

パソコンソフト販売本数 7分野でシェア第1位

2021年1月～12月 メーカー別販売本数シェア
【パソコン用ソフト】から【ビジネスからOCR・翻訳/PDF】【教育からPC・ソフト学習】【実用からハガキ/携帯/キーボード】
【グラフィックからビデオ編集・DVD関連】を抽出 全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ

ユーザーサービス

1800万人を超えるご登録ユーザー

当社グループは、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品を購入しユーザー登録されたお客様には、アフターサービスとしてバージョンアップやユーザー割引などのリピート購入を促進しています。ユーザー登録数はのべ1800万人を超え、大きな資産となっています。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. AI通訳機「ポケットーク」及び、AIボイスレコーダー「オートメモ」などIoT製品が好評です

「ポケットーク」は2017年12月の発売以来、累計出荷台数90万台を突破（2022年9月時点）。海外旅行の需要は減っているものの、リモート会議で「ポケットーク」が使えるようになったことや、米国での認知が高まり国内におけるサービスの向上の為に、医療機関や、学校、公共機関等での採用が加速しています。また「ポケットーク」で培った音声認識等の技術を活かした、文字にできるボイスレコーダー「オートメモ」は、音声認識精度などの地道な改善を続け、サービス利用アカウント数が4万を超えるなど、好評いただいています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮し利益配分を基本方針としております。2021年3月期は配当性向15%で配当を実施いたしました。しかしながら、前期は35億2百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐとともに、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。前期より株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。保有いただいている株数に応じて、当社サイトでの購入の際にご利用できるソースネクストポイント(特典ポイント)を進呈いたします。

Q. 今後の事業戦略は？

A. 「アフターコロナ」、「ウィズコロナ」を見据え、「ポケットーク」のさらなる拡販及び、リモート会議やテレワークに対応した製品を拡充します
新型コロナウイルスの収束後を見据えて、「ポケットーク」の機能拡張、海外での販路拡大を推し進めます。「ポケットーク」は専用端末の事業だけでなく、ソフトウェアで同時通訳できる「ポケットーク同時通訳」のリリース(今冬予定)等、引き続き世界的なブランド認知や、普及をさらに加速していきます。
4月に発売した360度カメラ「カイギョ カム360」も好評をいただいております。オフィスのテレワーク環境をより便利にする製品や、「オートメモ」などのIoT製品、ビジネス用ソフトウェアは今後も拡充し、時代の変化に対応した新製品を投入していきます。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社グループの理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育しております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

(株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について)

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行ないます。
(<https://www.sourcenext.com/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

証券コード

4344

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場



ソースネクスト株式会社
〒105-7133
東京都港区東新橋一丁目5番2号
汐留シティセンター33階

●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。